

としんち

# 議会だより



祝 令和2年 新地町成人式



## 令和初の成人式 (1/12)



2020.1.20

164

### 〈12月定例会・初議会〉

- 定例議会の概要…………… 2～ 4
- 町政を問う …………… 5～12
- 議会を傍聴して …………… 13
- 初議会 (議会の構成) …… 14～16

# 12月定例会

## 12月定例会のあらまし

令和元年12月定例会は、12月6日から11日までの6日間の会期で開催され、会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例の制定や津波復興拠点整備拡大区域造成工事請負契約、一般会計・特別会計補正予算など17議案及び議員提案の特別

委員会の設置など4議案を審査し、原案のとおり可決した。  
また、9日と10日には7名の議員が一般質問を行った。

### 条例

**会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例の制定**

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員制度を導入するため、新たに条例を制定するもの

#### 主な質疑

**問** 臨時職員の労働状況はどうなっているのか。

**回答** ひとつの目安として、臨時保育士で日給8200円、一般の事務補助で日給6500円となっている。  
(全員賛成で可決)

**森林環境譲与税基金条例の制定**

森林環境譲与税が、国から譲与されることに伴い、森林の整備等に要する資金として積み立てるため、新たに条例を制定するもの

#### 主な質疑

**問** ふくしま森林再生事業などの財源として使えるのか。

**回答** ふくしま森林再生事業には使用できない。  
(全員賛成で可決)

**印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例**

成年被後見人等に係る関係法律の整備に関する法律の施行等に伴い、所要の改

正を行うもの  
(全員賛成で可決)

**放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの  
(全員賛成で可決)

**若者定住促進住宅条例の一部を改正する条例**

若者定住促進住宅の入居資格等を緩和するなど、所要の改正を行うもの  
(全員賛成で可決)

**職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**

令和元年10月2日に行わ

れた福島県人事委員会勧告に準じ、若年層の給料月額を平均0.09割改定することなど、所要の改正を行うもの  
(全員賛成で可決)

**職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例**

地方公務員法の一部改正により、成年被後見人等の失職に関する規定が削除されることに伴い、所要の改正を行うもの  
(全員賛成で可決)

### 契約

**津波復興拠点整備拡大区域造成工事請負変更契約**

地盤改良及び擁壁工等の

# しやすい住宅へ 若者が入居



設計変更を行うにあたり、工事請負額9066万9700円の増額と、工期を令和2年3月31日まで延長するなどの変更を行うため、議会の議決を求めるもの  
(全員賛成で可決)

**財産取得・処分**

#### 財産の取得

文化交流センターの備品を整備するにあたり、11月22日、指名競争入札の結果、(株)トーシンが1680万8千円で落札したので、議会の議決を求めるもの  
(全員賛成で可決)

#### 財産の処分

東日本大震災の住宅被災者に対し、現在居住している駒ヶ嶺原町営住宅5戸の敷地及び建物を譲渡するため、議会の議決を求めるもの  
(全員賛成で可決)

### 町道

**町道路線の変更**

「作田埴浜線」の起点を「埴木崎字台前431番地先」として、「埴浜磯山線」の起点を「埴木崎字埴浜69番8地先」として、それぞれ変更するもの  
(全員賛成で可決)

### 補正予算

**一般会計補正予算(第4・5号)**

歳入歳出それぞれ2億8025万2千円を追加し、歳入歳出総額それぞれ80億1625万2千円とするもの

#### 歳入補正の主なもの

特別交付税132万6千円、国庫支出金3048万4千円、県支出金1億6564万7千円、保留地土地売却収入439万4千円、基金繰入金719万9千円、町債6270万円を増額。

#### 歳出補正の主なもの

総務費は光ファイバーケーブル支障物件移転工事費などで1737万3千円の増額。  
民生費は、幼児教育無償化に伴う施設型給付費などで1431万3千円の増額。  
土木費は、被災市街地復興土地区画整理事業の保留地土地代金返還などで2177万1千円の増額。  
災害復旧費は、農業用施設災害復旧費などで2億1255万円の増額。

#### 主な質疑

**問** 福田保育所建替について、どのような構想を持っているのか。

**回答** 現在の福田保育所と同規模で考えている。

**問** フットサル場について、どのような工事を計画しているのか。

**回答** 看板設置工事として予算計上している。  
(全員賛成で可決)



▲台風による三滝川決壊

**国民健康保険特別会計補正予算(第3・4号)**

歳入歳出それぞれ8万2千円を追加し、歳入歳出総額それぞれ9億9389万6千円とするもの  
(全員賛成で可決)

**公共下水道事業特別会計補正予算(第3・4号)**

歳入歳出それぞれ2億3154万7千円を追加し、歳入歳出総額それぞれ5億3077万1千円とするもの  
(全員賛成で可決)

# 議員 議発

議員提案により、厚生年金への地方議会議員の採択や特別委員会設置など4議案が提案され、原案のとおり可決した。

## 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

住民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入に関する意見書の採択を求めるも  
(全員賛成で可決)

# 特別委員会を設置

新地発電所増設等  
整備促進特別委員会

委員長 菊地 正文 議員  
副委員長 水戸 洋一 議員

設置の趣旨  
新地発電所は、運転開始から20年以上にわたり、本町の財政基盤の充実に寄与してきた。

議会としては、本町のまちづくりと復興に資するためにも「新たなエネルギーの活用や、より効率的な発電技術の開発により環境に配慮した発電所の増設」が必要と考える。  
安定した電力の長期供給を図る取り組みを、積極的に要請するため、新地発電所増設等整備促進特別委員会を設置するものとする。  
(全員賛成で可決)

常磐自動車道及び  
東北中央自動車道  
整備促進特別委員会

委員長 齋藤 充明 議員  
副委員長 藤田 修 議員

設置の趣旨  
常磐自動車道の全線開通により、浜通り地方の物流や人的交流の促進が図られている。また、東北中央自動車道は、被災地と内陸部の連携強化など、様々な機



能が期待される道路である。これら自動車道の整備促進を積極的に要請するため、常磐自動車道及び東北中央自動車道整備促進特別委員会を設置するものとする。  
(全員賛成で可決)

新地町復興推進特別委員会

委員長 寺島 浩文 議員  
副委員長 井上 和文 議員

設置の趣旨

震災から9年目を迎え、様々な復興事業が進められてきたが、津波復興拠点整備事業や防災集団移転促進事業で買上げた土地の利用などが課題となっている。  
また、農林水産業、商工業として観光などにおける風評被害の払拭や新たな産業振興も課題となっていることから、地域再生のための施策や財源措置について要請するため、新地町復興推進特別委員会を設置する。  
(全員賛成で可決)

## 陳情・要望等(12月定例会)

議会では、地域住民より直接の声となる、陳情、請願、意見等を受付けています。今定例会では、下記の陳情等を受付しました。

	件名	提出者	審査結果
陳情	看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情	福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋 勝行	採択 (意見書送付)
要望	令和2年度 教育予算に関する要望書	新地町小・中学校PTA 連絡協議会長 大内 広行	議員に配布

# ただここを質す!

# 町政を問う

## 一般質問

今定例会の一般質問は、12月9日、10日に行いました。

議員7名からは20件の通告があり、障がい者支援施設の建設などについて質しました。

各議員からの質問内容は、左記のとおりです。

以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

# 7名の議員が質問

(通告順)

吉田 博 議員 P6

- 1 町民支援の在り方を問う

寺島 浩文 議員 P7

- 1 自主防災組織の強化支援を
- 2 新たな観光資源の発掘と開発を
- 3 2次交通手段の整備を

寺島 博文 議員 P8

- 1 河川の水害対策を
- 2 通学路の安全確保を

八巻 秀行 議員 P9

- 1 新地駅前に観光窓口を
- 2 商業施設早期立地を

齋藤 充明 議員 P10

- 1 どう活用する駒小跡地
- 2 在宅介護の家族支援策は

藤田 修 議員 P11

- 1 新地高校は存続できるのか
- 2 児童数減少に伴う施策は

井上 和文 議員 P12

- 1 地球温暖化対策の取り組みを問う
- 2 抜本的な災害対策を

### 一般質問とは

一般質問は、町の行政全般に関し、執行者所見や疑義について質問できる。質問者は、事前に質問内容を通告する。

なお、当議会では一問一答方式を導入しており、時間内であれば何度でも再質問ができる。質問時間は、質問と答弁を含めて60分としている。



吉田 博 議員

## 町民支援の在り方を問う

### 町長 全町民への支援拡大を図る

**議員** 障害があり町内で生活している人は少なくない。町内に支援施設を希望している家族も多いので建設に向けた協議をすべきではないか。

**町長** 当町の障がい者等手帳交付状況は383名であり、その中で何らかの支援を受けている方は、56名で、うち就学前の子供が3名、授業が終わった放課後デイサービスには6名が利用している。

は、消費税率引き上げの財源を活用して子育て家庭の経済的負担軽減を図るものであるが、0〜2歳児までは原則無償化の対象外であることから、町では年間3万6千円を上限に助成金を支給し、子育て支援をしている。

**議員** 延長保育・放課後の学童保育支援体制にはこの制度が適用されないというが、費用負担の充実を図るべきではないか。

つ代、月2000円の最低限実費を徴収している。



▲完成間近のバンブトラック

**町長** これまで若者が行なってきた「やるしかねえべ祭り」「オートバイ愛好会のフラッグ」その他の地域活動に町では支援してきたところであり、産業誘致活動や、若者の移住定住を図るための事業も実施してきた。

**議員** 更に、町内高校生を対象にドイツに派遣して国際感覚を養う人材育成事業を実施したいと思う。



寺島浩文 議員

## 自主防災組織の強化支援を

### 町長 意見・情報交換を行う

**議員** 町内には自治会や地域ごとに自主防災組織があると言う事だが、その活動、取り組みはまちまちと言う事である。災害があった時にそれぞれの地域の被害を軽減するには、地域内での情報やノウハウなどを共有し、防災に対するアイデアなどを出し合い、災害に備える事が必要である。

**町長** 毎年消防団の秋季演習に合わせ、自主防災組織と連携した避難訓練や炊き出し訓練を実施している。自主防災組織への資金面での支援としては、防災資機材整備や防災訓練に対しての補助事業も制度化しているが、東日本大震災以降活用はされていない状況である。

住民の防災に対する意識が低下していることも考えられる。自主防災組織の必要性や活動内容について、職員が出向き説明を行う、啓発活動なども行うべきではないか。



▲応急給食訓練（駒ヶ嶺地区）

**議員** 町には復興事業による新たな観光資源と既存の観光資源がある。しかしまだ眠っている観光資源もある。そういった観光資源の掘り起しも行うべきではないか。また新たな観光資源の開発も必要と考える。個人的には「食」だと思える。その土地ならではの食事やお土産の開発は必要だと思うが、町としてはどの様に考えるか。

**町長** 現在町には特産品の純米吟醸鹿狼山、イチジクを使った加工品、ニラ、トマトなどがある。更なる特産品開発に向け、6次化支援や新たな商品開発のための、共同加工施設も検討する。観光資源の発掘について、当町では海・里・山と様々あるが、これからは単にその場所を訪れるだけで

### 新たな観光資源の発掘と開発を

#### 町長 共同加工施設を検討中

はなく、何かしらの体験や、地域住民との交流によって町と町民に愛着を持っていただき、リピーターとなってもらえるような体験交流型の取り組みを考えていく。

#### 町長 しんちゃんGOの運行形態見直し検討

**議員** 新地町にJRで訪れた場合、そこからの2次交通手段がない。タクシーは新たに1社営業を開始すると言う事だが、新地・駒ヶ嶺両駅をカバーできるかは疑問である。以前の一般質問でしんちゃんGOの町外の方の利用も検討しているという回答があった。しかしその後もしんちゃんGOの運行形態の見直しは行われてはいない。いつ見直しを行うのか。



寺島博文 議員

## 町長 避難勧告流域を優先的要望する

### 町長

**議員** 台風19号及びその後の大雨の影響により、駒ヶ嶺町、新町、上ノ町、深町の4地区は、2度続けて避難勧告が発令された。地球温暖化の影響により、このような大雨洪水等の自然災害は、今後も、当たり前のように起こるのではないかと言われている。地域住民の生命・財産を守る為、川底の土砂の除去、川幅の拡幅、堤防強化について、県に強く要望し、水害対策を早急に進めるべきと思うが何う。

**町長** 川底の堆積物除去については、福島県へ要望しながら、堆砂や川底に繁茂した雑草、樹木について、除却を実施している。10月の台風の影響により堆砂箇所に変動があることから、改めて協議をしながら、実施箇所を定めていきたい。

**議員** 協議をしながら、実施箇所を定めていくとあるが、早急に避難勧告流域の堆積土砂の除去を最優先させるべきと思うが何う。

**建設課長** 避難勧告流域を



▲立田川の推積土砂

優先的に、堆積土砂の除去について、県に要望している。

## 通学路の安全確保を

### 町長 前向きに検討する

**議員** 駒ヶ嶺町交差点は通勤・通学路にもかかわらず、道幅は狭く、歩道も整備されていない。交通量が大幅に増大し、事故発生危険性が高まっている。通勤・通学路の安全を確保すべきでないか何う。

**町長** 駒ヶ嶺新地線は、特に交差点北側が狭く、通勤通学時間帯は通行量が多く車両の滞留が見られる状況です。通学路の安全確保は重要ととらえているが、交差点周辺は家屋が隣接しており、歩道の設置や交通規制、スクールゾーンの設定等いろいろな角度からの検討が必要と考えている。

**議員** 道路の拡幅、歩道の整備、信号機をつけて、通学路の安全確保をすべきではないか何う。

**建設課長** 信号機設置には東西2車線同様、駒ヶ嶺新



▲混雑する駒ヶ嶺町交差点

地線も2車線にする必要がある。道路の拡幅や歩道の設置等、視野に入れながら前向きに検討していく。

**議員** 新しい事業として、レンタルサイクルを事業化してはどうか何う。

**町長** 新地町観光協会の組織強化と合わせ、事業化を検討していく。

**議員** 水害を想定したハザードマップはあるのか。

**町長** 水害ハザードマップとして「新地町防災マップ」の策定を、来年3月完成予定で取り組んでいる。

## 新地駅前観光窓口を

## 町長 組織化を図り窓口を設置



八巻秀行 議員

**議員** JR新地駅が平成28年12月10日に開業して丸3年となる。あの津波で流された「くの字」に曲がった電車が全世界にテレビ放映され、国、県はもとよりJR東日本が3か月前倒しをして復興を押し上げて来たが、未だに駅前の賑わいづくりができていない。

商工会は、今年9月に移転されているが、町をPRする観光協会窓口の設置が早急に望まれる。1階のインキュベーションスクエアの一角に配置してお客様の期待に添えてほしい。早期促進を何う。

**町長** 現在、観光協会窓口は、役場庁舎の企画振興課になっている。震災後新地駅周辺や町内全域に様々な施設が整備されており、それら新しく整備された施設や既存の観光資源も含め、町全体の案内窓口として町の玄関であるJR新地駅前に組織化を図った上で観光協会窓口を設置する。

**議員** 回答は、消極的であ

り新しく整備された施設や既存の観光資源も含め、組織化を図るというが、そんな余裕はない。毎日の利用客がいるわけであり、スピード感を持った、素早い対応が求められている。

インキュベーションスクエアの一角に配置をして、お客様の期待に添えてほしい。

**副町長** 組織強化を図り、早い対応をする。

**町長** 組織強化を基本に

町づくりを左右する重要な施策と思っている。しっかりと対応しなければならぬ。町民が切望するスーパー等の交渉現況を詳しく何う。そして、地場産広場のJAあじさい、あぐりやなどの協力も頂きながら商業施設を早急に整備できればと思う。

**町長** 造成工事は、今年度中に完成予定であり、次年度、事業者が商業施設の整備に着工できるよう進めて行きたい。現在、進出意向のある事業者やりとりをしているが、民設民営では、なかなか進出に踏み切れないという状況である。



▲商業施設の早期立地を

**議員** 津波復興拠点整備拡大区域造成工事は、先月11月29日の工期であったが、そこに商業施設を立地させることが課題である。今回契約変更により工事は、来年3月31日完了予定となった。

敷地面積2.2haに5億1500万円を超える金額を投じる施設用地であり、この用地の利用が今後の

今後引き続き情報収集を進め、早い段階に進出企業が決まるよう努力していく。

**議員** 民設民営では踏み切れないと言うが、やはり民営と思う。

**都市計画課長** 民設民営を基本にしっかりと対応していく。



齋藤充明 議員

## どう活用する駒小跡地

### 町長 企業誘致を進める

**議員** 今回の台風19号とその後の大雨により立田川決壊の恐れがあり、駒ヶ嶺地区は総合体育館に避難した。今後も気候変動により大災害が予想される中で、新・駒ヶ嶺公民館や駒ヶ嶺小学校が避難所として適切なか検証する必要がある。更に高齢化が進む中で、近くて安全な避難所として、駒小跡地が適地とされている。現在「工業用地」に指定されているが、避難所を兼ねた福祉施設として整備できないか。

**町長** 町では、防災施設として「新地町消防・防災センター」を整備し、一次避難所としての機能や備蓄倉庫も設置している。また、災害時の避難所は、総合体育館など9カ所指定避難所としている。老人施設は、町内には特養ホームが2施設と認知症グループホームが1施設あり、それぞれ社会福祉法人と民間事業者が運営している。このような中で、駒小跡地は「工業用

地」として、企業誘致に取り組んでおり、現在、具体的な引き合いはないが引き続き工業用地として分譲を進めていくので、防災施設や福祉施設としては整備する計画は持っていない。

**議員** 工業用地として具体的な引き合いはないとのことだが、面積2分の1の高台で桜と緑に囲まれた場所が、今では荒れ果てている。町の均衡ある発展のためにも、福祉モールの（様々な福祉サービス事業所がショッピングモールのように軒を並べるイメージ）な活用を検討できないか。

**町長** 福祉施設は全国的には不足していると言われるが、人口減少時代に入り、社会福祉法人がつぶれているところも出ている。町内の要介護4、5の方はほとんど施設に入っているとと思う。駒小跡地は、企業誘致を進めており、福祉施設の計画は考えていない。



▲旧駒ヶ嶺小学校跡地

**議員** 「福祉サービス事業所」も一つの企業誘致として捉え、今後、第6次町総合計画の中でも検討してほしい。

### 在宅介護の家族支援策は

**町長 状況に応じ対応**

**議員** 町内の特養ホーム2施設には、入所申込待機者が12月6日現在で191

名、そのうち新地町民は50名である。在宅介護で悩んでいる家庭も多いが、支援策の取り組みを伺う。

**町長** 高齢者や介護に取り組む家族への各種支援事業を実施している。介護が必要な場合は包括支援センターへ、家族介護に支援が必要な場合は、町保健師等が訪問し相談に応じている。家族が対応困難なケースでは、自立支援地域ケア会議で対策する。また、百歳体操等を推進し、地域全体で高齢者を支える取り組みをしている。

**議員** 相馬広域シルバー人材センターには当町から約50人が登録している。核家族化が進行し、年金だけでは生活が厳しくなっている。高齢者の就業ニーズを支えるシルバー人材センターの支援策を伺う。

**町長** 町としても、高齢者が幅広く社会参加・貢献していただけるよう、今後とも、シルバー人材センターの運営を支援していく。

## 新地高校は存続できるのか

### 町長 粘り強く要望する



藤田 修 議員

**議員** 新地高校の統廃合について、町には平成30年に県から「統合を検討している」と説明を受けたとされている。内容について具体的に答えたい。また、内容的にお答えいただきたい。

**町長** 新地高校の統合については、昨年12月に総合計画を示され、今年2月には、2月の定例教育委員会で決定する旨の話を聞いた。いずれも統合ありきの説明であり、到底受け入れられないと伝えた。

**議員** 町として、存続のためにはどのような取り組み、どのようなことが課題となっているのか。

**町長** 県教育委員会の説明の都度、町は反対の意を示している。存続のための要望書も提出した。また、福島県立新地高等学校の存続を求める会が県議会議員へ請願書も提出した。

課題は、話が平行線のまま進んでいること。しかし、今後も存続に向け、粘り強く要望を続けていく。

**議員** 請願書の返答はあつ



▲新地高校

たのか。

**教育総務課長** 請願書提出後、県の議会から「福島県立新地高等学校の存続を求める会」宛てに継続審議との回答があった。その後、議会の任期満了に伴って請願の審議未了にて廃案となった旨の文章をもらったと伺っている。

**議員** 請願書は再度提出するのか。

**教育長** 請願書は、否決されるとそれまでになつてしまふ。その為、今回は県議会での一般質問にて、新地高校を取り上げてもらう予定である。

### 児童数減少に伴う施策は

**町長 定住化で人口増を目指す**

**議員** 町は人口増のため、どのような取り組みをしているのか。

**町長** 若者定住促進住宅を2団地整備し、現在は子供がいる若い世帯を対象としている。今定例会において、新婚世帯や子供がいなくても配偶者がいることで入居できるように条例の改正を進



▲新地小2年生

めている。これによって、定住化による人口増加を目指す。

**議員** このまま児童数が減少した場合、3つの小学校を統廃合し、小中一貫にする考えはあるのか。人口、児童数増加は永遠の課題である。町は先見の目を持ち、尽力すべきだと思う。

**町長** 地域住民の意向を踏まえ、学校に複式学級ができることが明らかになった時点で検討する。また、小中一貫については考えていない。



井上和文 議員

# 地球温暖化対策の取り組みを問う

## 町長 環境と共生する町づくりを進める

**議員** 台風19号等を始め記録的な猛暑など、近年世界各地で過去の常識を覆すような異常気象が頻発しており、地球温暖化が原因とされている。地球の年平均気温は、産業革命以前と比べ約1℃上昇しており国連の下の「パリ協定」は気温上昇を1.5℃未満に抑制するために、今世紀後半に温室効果ガス排出を実質ゼロにする目標を掲げたが、この10年に変化を起こさなければ1.5℃のチャンスは失われるとさえ予測されている。

**町長** グレタ・トゥーンベリさん（16歳）の訴えが世界160ヶ国400万人の賛同を集めているが、新地町でも子供たちに現状を勉強してもらい、次世代に自然資源と人間社会をつないでほしいと思う。

福島県では、再生可能エネルギー100%を目指すとしているが、石炭火発やLNG発電所を有する町が「環境未来都市」として民



▲環境と共生する町へ

間にも働きかけ町全体で環境問題を考えていくべきだ。

**町長** 新地高校は29年度に地域エネルギーフォーラムで環境エネルギーの新しい町づくりの提案を発表し、来年度は新地高校生及び町内在住の高校生を対象にドイツカーベック町でのエネルギーキャンプを予定している。小学校では、環境教育全体計画を策定、中学校では環境エネルギー学習を開催した。

環境未来都市として、自然エネルギーや地域エネルギーの活用と効率化を図り、25年度から住宅用太陽光発電設置補助230件、1126戸を推進した。また各種補助金を活用して、

小中学校、公共施設に太陽光発電施設、蓄電池システムを導入している。

**企画振興課長** 相馬共同火力発電所から排出されるCO2ガスは年間約1100万トンだが、木質バイオマス活用で年間2万1000トン削減している。

SDGs（持続可能な開発目標）の時代なので東大、国立環境問題研究所等と連携して環境と共生する町づくりに取り組む。

### 抜本的な災害対策を

**町長** 安心安全な町づくりを進める

また三滝川、砂子田川、立田川等の堤防強化、河道構造の改善、河川改修が求められる。アグリグリーン下、駒ヶ嶺地区排水、小川貝塚南排水等の改修を始め、地蔵森下の山崩れ対応、避難準備情報、避難計画、稲わら駆除、水路復旧、たん水防除の遊水地確保、津波ハザードマップ等の取り組みを急ぐべきだ。

**町長** 刻一刻と状況が変化する中で、避難勧告の発令等難しい判断もあった。道路、河川、133か所、農地等100か所、家屋36か所の被害があった。迅速で的確な体制整備を図り、安心安全な町づくりを築く。

県へ早急な対応を強く求めるとともに、稲わら駆除は、今月中に説明会を実施して速やかに進める。新たな「新地町防災マップ」を作り避難情報の伝達、周知を含め、総合的に取り組む。



▲12月定例会を傍聴

## 議会を傍聴して

心ひとつに「ワンチーム」で

第一行政区長 林 昭雄

この度、行政区長会にて令和元年新地町議会12月定例会一般質問を傍聴させていただきました。

**質疑応答の形式は、一問一答方式であり、素人目には大変分かりやすい進め方だと思えます。質問内容は、何れも新地町にとって大事な内容であり、興味深く聞かせて頂きました。質問に対する回答も丁寧で、真摯に説明しており、大変分かりやすく受け止めることが出来ました。**

個人的には、「観光行政の促進」、「交流人口の拡大」、「子育て支援」等の施策について、特に興味深く聞かせて頂きました。

敢えて議会への要望を申し上げますと、質問内容が重複している部分もあったことから、可能な範囲で調整できないものかと思いました。また、町議会は町民の代表として、町政の課題解決やチェックをする事が主な役割だと思えます。今後とも町民の意見、ニーズ等を広く吸い上げ、心ひとつに「ワ

**ワンチーム」で町政に反映し「住んで良かった、住んでみたい新地町」にしていたければと思います。ご期待申し上げます。**

**地方自治発展と住民福祉向上のために**

第十二行政区長 鶴田 芳文

12月議会の一般質問を区長会で傍聴しました。選挙後、初めての定例会で、2日間7名の議員が行政に質問を行いました。

本来、議会は住民に代わって執行機関を監視・評価し、執行機関の独走をチェックする役割があります。

2日間傍聴してみて、議員が「監視・評価をする」ことより、一般質問の場で提言することが多かったように感じました。思い付きの質問ではなく、もともと住民の意見や要望を把握し、

## 表彰



▲森一馬前議員

11月1日に永年勤続功労者（議員在職25年）として森一馬前議員を表彰しました。

## 議会を傍聴しませんか

★次回の定例会は、3月初旬開会の予定です。

議会は、所定の用紙に必要事項を記入して頂くことにより、どなたでも自由に傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
議会事務局（新地町役場3階）☎62-2190（直通）

### 令和元年 第5回 議会臨時会(初議会)

# 新議会の構成が決まりました

令和元年第5回臨時会(初議会)は、11月20日に招集され、本会議において正副議長の選出並びに議会構成決定後、議案審議を行い専決処分2件及び人事案件1件をそれぞれ可決、同意しました。

今後4年間の議会運営にかかる議会の組織構成は次のとおりです。

【紹介事項】①地区名 ②当選回数

## 議員の紹介

### 議長



議席番号12番  
遠藤 満 (69歳)  
① 鉄炮町  
② 3回

### 副議長



議席番号11番  
三宅 信幸 (71歳)  
① 作田  
② 3回

### 議長就任のあいさつ

議長 遠藤 満

このたび議員各位のご支持により、議長という大役を賜り身に余る光栄であるとともに、職責の重大さを痛感いたしております。町民の皆様への期待と信頼に応えるべく、公正かつ円滑な議会運営に努力してまいります。

町の現状は、復興の総仕上げに向けて各種事業が進められ、新たな新地町の姿が見えてきております。今後は、その整備された施設をどのように活用し、地域の活性化に繋げるのが重要となります。また、昨今の異常気象をはじめ、自然災害が多くなっており、改めて災害に強いまちづくりの必要性を認識しております。

持続可能で自立できるまちづくり、将来に希望と誇りが持てる新たなまちづくりに、議員一丸となり、皆様と一緒に取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 人事

### 監査委員の選任

議員から選任される監査委員に、目黒静雄氏を選任することに全会一致で同意しました。任期は議員の任期による。

### 一部事務組合

- 相馬地方広域市町村圏組合 議会議員 目黒静雄
- 相馬地方衛生組合議会議員 井上和文、寺島博文
- 相馬地方広域水道企業団 議会議員 吉田博、齋藤充明

## 専決

### 専決処分の承認

令和元年度台風19号災害に伴う、災害復旧に係る費用として一般会計に歳入歳出それぞれ、1億2800万円を追加するもの (全員賛成で可決)

### 専決処分の承認

令和元年度台風19号災害に伴う、災害復旧に係る費用として公共下水道事業特別会計に歳入歳出それぞれ、2600万円を追加するもの (全員賛成で可決)



議席番号1番  
藤田 修 (72歳)  
① 作田  
② 1回



議席番号2番  
寺島 博文 (61歳)  
① 城内  
② 1回



議席番号3番  
齋藤 充明 (64歳)  
① 藤崎  
② 2回



議席番号4番  
水戸 洋一 (66歳)  
① 新地町  
② 2回



議席番号5番  
八巻 秀行 (70歳)  
① 菅谷  
② 3回



議席番号6番  
吉田 博 (70歳)  
① 富倉  
② 3回



議席番号7番  
寺島 浩文 (57歳)  
① 小川  
② 3回



議席番号8番  
目黒 静雄 (72歳)  
① 富倉  
② 7回



議席番号9番  
菊地 正文 (72歳)  
① 岡  
② 8回



議席番号10番  
井上 和文 (64歳)  
① 中島  
② 9回

## 各種委員会構成

	常任委員会		議会運営委員会	議会広報編集委員会
	総務文教	産業厚生		
委員長	水戸 洋一	八巻 秀行	吉田 博	藤田 修
副委員長	吉田 博	寺島 浩文	八巻 秀行	水戸 洋一
委員	遠藤 満	三宅 信幸	三宅 信幸	吉田 博
	菊地 正文	井上 和文	寺島 浩文	齋藤 充明
	齋藤 充明	目黒 静雄	水戸 洋一	寺島 博文
	寺島 博文	藤田 修		



総務文教常任委員会



産業厚生常任委員会



議会運営委員会



議会広報編集委員会

### 編集後記

改選後初めての議会だよりをお届けいたします。  
今定例会の一般質問では、新人議員、ベテラン議員、それぞれ、町民の思いを届けていました。新地町を想う気持ちはみんな一緒です。

さて、東日本大震災から8年10か月が過ぎました。新地駅前では複合商業施設などが開業となり、釣師防災緑地公園には新たに「パンプトラック」が整備されています。大人も子供も楽しめるスポットができました。いろいろなアクティビティーを通して町民がもっと交流できるようになります。

町と議会一丸となり、より活発な、より活気のある町となるよう尽力いたしますので今後ともよろしくお願いたします。

(藤田 修)

### 編集委員

委員長 藤田 修  
副委員長 水戸 洋一  
委員 吉田 博  
委員 齋藤 充明  
委員 寺島 博文